

くらしが
たいへん!

146億円も
あるなら…
市民のために
つかってほしい。



4月24日
市政の選択

くらしを守ろう
政治を変えよう

安倍さん、こわい!
若者を戦場に
送るな

この道は
いつか来た道
戦争への道…



市議の手当の
引き上げ…
ほんとか?

3月市議会で
賛成多数で
決まりました。



年金は
減るのに…

国保税も介護保険料も
負担はずつしり…

消費税10%
とんでもない!



3つのモノサシ
代表を選ぶ



1 ため込み金146億円を 市民のくらしに活かせる人は?

異常なため込みに同調し、一方で3月議会では議員の手当てを引き上げ。こんな市議では、市民のくらしを守れません。自民党などは、「共産党はいいことを言うが、財源を示さない」と攻撃しています。財源はあります。問題は、税金を市民のために使うかどうかです。

2 「いいことはいい、ダメなものはダメ」 市長にモノが言える人は?

「市政をチェックする」——市議会の大きな役割の1つです。市長の提案に何でも賛成では、その役割を果たせません。日本共産党は、「いいことはいい、ダメなことはダメ」と、市長にもハッキリモノが言える党だから、地域とくらしの願いがまっすぐ市政に届きます。

3 TPP、戦争法、消費税、原発… アベ暴走に立ち向かう人は?

「大企業がもうけをあげれば、いずれは家計に回る」という「アベノミクス」の破たん、「アベノミクス不況」がハッキリしました。アベ暴走政治を許しては、くらしも地域も守れません。日本共産党は、アベ暴走に立ち向かい、どんな問題でも対案を示し、「野党共闘」「市民との共同」で安倍政権の打倒、国民連合政府の実現に全力を尽くします。

政策も実績も語らず「〇〇さんは大丈夫。だから私に…」は、共産党落としの口ごみです。こんな人に託したら、あなたのくらしが大丈夫でなくなりません。